



TITLE:

# 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 76

AUTHOR(S):

---

CITATION:

京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 No. 76. 京都大学瀬戸臨海実験所振興会水族館月報 1959, 76: 55-60

ISSUE DATE:

1959-01-10

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/186790>

RIGHT:

# 京都大学瀬戸臨海実験所振興會

## 水族館月報

No. 76

謹賀新年

1958.12月(1959.1月10日)

### 録 事

水族館改築の前提としてこの春復旧を見た海水取入口をいよいよ活用させるためには従来の吸揚水システムの改修が必要とされる。これがために必要な見積額を基にして臨時予算案を組み、11月中に持ち廻り審議に付した。12月5日審議を終了、全委員の賛成を得たので、早速大学当局に申請したところ、12月26日付'会営第306号'で許可が下りた。

全予算案及び改修工事内容の概要は(別紙 2)に掲記する。

なお先々月(NO. 74)にてお知らせした貯水槽設置の山の土砂崩れは、之が復旧方を申請中のところ却下されたので、本会の災害資金を以て復旧しないと思う。よってこれが所要経費も併記したので、本年度予算に追加されるよう御承認をお願いする。

水族館の営業状況は次第に常態に回復する徴が見えてきたので、改築の見通しも明るくなった。

原田研究員はかねてより英国留学の希望あり、12月11日上京、本年度のBritish Council 募集の留学生選拔試験を受けたところ、幸にも合格の旨知らせがあった。

布施委員及び原田研究員は、12月21日～27日同乗場調査のため九州天草の九州大学臨海実験所へ出向した。

去る8月20日より4ヶ月の長さにわたりてNew Caledonia及びNew Hebrides諸島の学術調査に遠征中の時岡委員は宮津港に入港のニッケル鉱石運搬船に便乗し、無事帰国、多数の採集資料をもって12月25日白浜に帰った。

12月28日、宮地所長来白。近畿大学及び京都大学協力の下にかねてより計画されてあるイセエビ養殖事業につき、近大白浜臨海研究所長松井佳一博士の招請による同打合せ会に原田研究員と共に列席した。

同夜、川久旅館にて美濃所水族館職員一同の忘年会を催し、多彩な十年間の労を慰した。

在海館員の祖母しなさんは去る12月3日、91才の筈にみる高令を以て在夭された。謹んで哀悼の意を表する。

UNESCO委託研究の一部として京都大学地球物理学教室の福尾義昭助手が田辺湾海水交流の調査のため12月19～20日来白した。又、同様の関係で12月中には東北大学川内分校地学教室の三位秀夫助手(19～23, 25日)、畑井小虎助教(25日)及び弘前大学地学教室の岩井武彦助手(25日)も海洋地質の調査のため来白された。

## 業 務 概 況

### ◎ 12月の入場者数

区 分	水族館発売数		明光バス発売数		合 計	
	本月分計	累 計	本月分計	累 計	本月分計	累 計
大 人	3409	61325	8672	132618	12081	193943
小 人	144	5465	97	4395	241	9860
団 体	4718	121239	—	—	4718	121239
合 計	8271	188029	8769	137013	17040	325042
無料入場者	阪神パーク職員、戦災孤児他				678	1209
団 体 :	一般 31組、学生 3組		計 34組			

### ◎ 12月の事業収入

(今年度累計)

観覧券売上金	319,970	5,844,966
予金積立金利子	—	446,169
雑 収 入	60	24,600
魚 菜 拂 下	—	8,940
絨はがき拂 下	7,650	103,770
計	327,680	6,428,445

### ◎ 12月の支出

#### 水族館経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人 件 費	206,288	880,922	期末手当他
会 議 費	460	64,582	
備 品 費	—	86,520	
消 耗 費	20,871	138,386	
事 業 費	54,870	581,539	
維 持 費	—	96,907	
其 他諸費	140,481	498,615	建物借用料、事務謝礼
積 立 金	67,141	5,084,527	忘年会費他
合 計	490,111	7,431,998	

実験所経費

費 目	金 額	累 計	備 考
研 究 費	10,000	120,000	布施委員
奨 学 金	8,000	72,000	
備 品 費	94,050	438,695	トーションバランス化
消 耗 費	56,100	56,100	広口瓶, 標本瓶
刊 行 費	—	217,534	
役 務 費	—	—	
合 計	168,150	904,329	

博物館経費

費 目	金 額	累 計	備 考
人 件 費	69,585	259,615	期末手当他
備 品 費	—	51,020	
消 耗 費	19,130	24,645	局方アルコール, シャーレー他
役 務 費	—	8,030	
合 計	88,715	343,310	

臨時費

摘 要	金 額	累 計	備 考
ビニールケミカルポンプ	328,000		積水化学より納入
給湯水管システム配管工事	250,000		積水化学・西村商会
合 計	578,000	1,140,560	

支出合計

(今年度累計)

水族館経費	490,111	7,431,998
実験所経費	168,150	904,329
博物館経費	88,715	343,310
臨時費	578,000	1,140,560
計	1,324,976	9,820,197

◎ 12月末現在高

前月からの繰越	1,493,374
今月の収入合計	327,680
今月の支出合計	1,324,976
現 在 高	496,078

◎ 前年度との比較

	1957	1958	増	減
入 場 者 数	15236	17040	+	1804
売 上 金	284397	319970	+	35573
支 出 金	520,743	1324,976	+	804,233

水 族 館 記 事

- ◎ 先月入槽した巨大なイバラヒトデが7日遂に死亡。 腕も1本ちぎれたが酒精漬標本として保存することにした。
- ◎ ベニイザリウオが7日1匹入槽したが、先月末入槽中の3匹が14日、22日、23日にそれぞれ死亡し、淋しくなった。
- ◎ イセエビ類の王者ニシキエビが2日入槽し、NO.26の水槽で巨姿を観客の前に現わす。
- ◎ ツノダシが15日1匹、25日1匹、ツバメウオが15日1匹死亡した。
- ◎ マツカサウオが11日3匹入槽した。
- ◎ ドクザメが22日23日の両日1匹宛入槽した。
- ◎ アカウミガメの仔が今月中14匹死亡した。
- ◎ カブトガニ1匹29日死亡。
- ◎ ミノカザゴ1匹29日入槽。

## 資 料

- ◎ 12月の気象 (9所観測)  
 南水槽室 (水温比重はN.O.25水槽)

	上旬	中旬	下旬
晴天日数(21)	8	7	6
室温(°C)	$\frac{11.9 \sim 15.2}{13.9}$	$\frac{10.8 \sim 16.1}{13.3}$	$\frac{10.0 \sim 16.2}{12.6}$
水温(°C)	$\frac{17.45 \sim 18.69}{18.11}$	$\frac{16.13 \sim 19.12}{17.65}$	$\frac{15.84 \sim 18.18}{17.21}$
比重(0.15)	$\frac{25.46 \sim 25.83}{25.54}$	$\frac{25.58 \sim 25.87}{25.80}$	$\frac{24.64 \sim 25.87}{25.72}$

取入口

水温(°C)	$\frac{17.36 \sim 19.29}{18.56}$	$\frac{17.25 \sim 19.22}{18.14}$	$\frac{16.04 \sim 19.37}{17.65}$
比重(0.15)	$\frac{25.46 \sim 29.54}{25.66}$	$\frac{25.67 \sim 25.92}{25.84}$	$\frac{25.58 \sim 25.92}{25.83}$

## 来 訪 録

12月17日 生物映画研究所の今村奥雄氏(来年度撮影予定の実写映画「日本の海」  
 (仮称)の撮影協力の懇請)

昭和34年1月10日 (NO. 76)	
編集兼 発行者	内海 富士夫
発行所	瀬戸臨海実験所振興会 和可山県白浜町 瀬戸臨海実験所内 (Tel. 白浜温泉 515)